



平成 27 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸 山 雄 平
(コード番号：6085 東証マザーズ)
問 合 せ 先 常務取締役 管理本部長 松 田 静 夫
(TEL. 06-6363-5701)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期の通期業績予想の修正並びに特別損失の計上を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,660	百万円 210	百万円 222	百万円 126	円 銭 82.76
今回修正予想 (B)	1,450	74	90	30	19.05
増 減 額 (B - A)	△210	△136	△132	△96	—
増 減 率 (%)	△12.6	△64.7	△59.4	△76.1	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成26年3月期)	1,582	272	254	141	109.70

2. 修正の理由

住宅業界におきましては、消費税増税に伴う需要の反動減の影響が顕著で、厳しい受注環境にありましたが、当社につきましても、加盟建設会社における工事請負受注が伸び悩み、特に、請負契約が集中する傾向にある第 4 四半期において受注の期ズレが発生したことにより、スタジオロイヤリティ売上及び建築家フィー売上が予想を大幅に下回る見通しとなりました。また、イベント開催回数及びイベント開催費用が予定を下回り、マーケティング売上が予想を下回る見通しとなりました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が平成 26 年 11 月 13 日に公表した予想値を下回る見通しとなりましたので、業績予想の修正を行うものであります。

3. 特別損失（工事完成保証損失引当金繰入額）の計上及びその内容について

当社では、加盟建設会社の倒産等により工事の継続が不能となった物件について、当該物件の完成・引渡しに係る費用を見積り、当社が保証すべき額を計上しておりますが、このたび加盟建設会社の 1 社が破産手続開始決定となったことにより 25 百万円の引当計上が必要と算定されたため、平成 27 年 3 月期決算において当該金額を工事完成保証損失引当金繰入額として特別損失に計上するものであります。

以 上

(注) 本資料に掲載されている将来の見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。